じょう　がく　つう　しん
城岳通信

第７号
令和元年５月24日（金）
発行者：校長　宮里 寿子

臨時集会を持ちました。～地域から～

今週に入り、地域の方から学校へ２件のお電話がありました。１件目は、部活終了後、グランドで児童数名が寝転がっているのを見て、サンエーに買い物に来た方から、「いじめられているのでは？」と心配のお電話がありました。そこですぐに確認したところ、保護者もいる中で遊んでいるところだったのですが、地域の方は、「城岳っ子」のことを心配し、見守って下さっているのだな、と感じました。しかし、２件目は「自転車走行中に、自転車に乗った児童達が突っ込んできて危ない思いをした、また、子ども達がポプラ保育園前の信号を無視して危ない。」といった「お怒り」のお電話でした。

そこで、一昨日の５月 22 日（水）のお昼休み時間、のびのびタイムに、全校児童を体育館に集め、「臨時集会」を持ちました。生徒指導主任の親川孝彦先生から、**「自転車走行中にぶつけられ、ここで転倒したら、車に轢かれ、大怪我をするかもしれない。一生寝たきりや最悪の場合、命を落とすかも知れない。突っ込まれてきた人の気持ち、または、自分のお父さんやお母さんがそういう目に合ったらどう思いますか？」**というお話をし、相手の気持ちを考えること、また、命を守るための「交通ルール」の確認をしました。また、今回のお電話は、地域の方が城岳っ子のことを見守っているということ、これからは、地域の方が心配してお電話があるときは、必ず今回のように臨時集会を持ち、全児童で確認していくことも約束もしました。

ぜひ、ご家庭でも今回の臨時集会のことを話題に挙げ、お子さんと「相手の気持ちを考える」等、話し合っていただきますよう、よろしくお願い致します。

読み聞かせボランティア　～「ゆい」活動スタート～

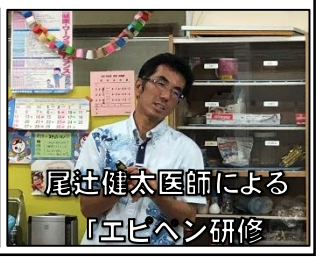
５月８日（水）の読み聞かせボランティア「ゆい」の結成式では、新たなメンバーも加わり、18 名の参加があり、翌週 14 日（火）から活動開始でした。毎週火曜日の 8:20～8:30 の間、各クラスで読み聞かせをして下さいます。

「ゆい」の特徴は、お母さん、お父さんの保護者だけでなく、地域の保育園の保育士の方等、多くのボランティアの皆さんが活動して、全学年で読み聞かせが入ります。心より感謝申し上げます。これからも子ども達のため、よろしくお願いします。

安全教育・校内研修　～交通安全指導、心肺蘇生・エピペン研修～

「命を守る」指導として、交通安全指導（5/9）、教職員の研修として、心肺蘇生研修(5/14)、食物アレルギー及びエピペン研修(5/17)を実施しました。

那覇署「交通安全指導」

消防署「心肺蘇生研修」

尾辻健太医師による「エピペン研修